

令和5年度 江戸川区立第五葛西小学校 学校経営方針（概要版）



【学校教育目標】

人間尊重の精神を基調とし、健康で知性と感性に富み、広く社会において信頼される人間性と豊かな品性のある児童の育成を目指して教育目標を設定する。

- 深く考える子（思考力・判断力・表現力豊かで未知の状況にも対応できる子）
- 仲よく助け合う子（実際の社会や生活で、人との関わりを大切にできる子）
- すずんでやりぬく子（学んだことを人生や社会に生かそうとする子）
- 体をじょうぶにする子（心身ともに健康でたくましい子）

目指す児童の姿（合言葉）

【ごかさいの子】

- ① 心豊かで優しい子
- ② 身体も頭もきたえる子
- ③ 最後まであきらめず取り組む子
- ④ いつも笑顔でたやさぬ子

目指す教職員の姿

- 児童一人一人を大切に、使命感をもって教育にあたる教師
- 互いに学び合い、支え合い、高め合う教師
- 児童、保護者、地域から信頼される教師

目指す学校の姿

- 児童一人一人を大切に、豊かな心を育む学校
- 確かな学力の定着を保障する学校
- 教職員が学び合い、支え合い、高め合う学校
- 家庭、地域と協働して教育活動にあたる学校



【五葛西伸びる子10の力】

- 「生活力」 ①早寝・早起き・朝ご飯 ②身の回りの整理整頓
- ③時間を守る（5分前行動）
- 「学ぶ力」 ④前の日に自分で学習準備 ⑤目と身体と心で聴く
- ⑥自分の考えをもつ
- ⑦分からないことを「聞く」「調べる」
- 「社会力」 ⑧元気なあいさつ ⑨思いやりのある言葉
- ⑩自分と友達のよいところを見付ける

教育目標達成に向けた具体的な手立て

1 豊かな心づくり

- ・一人一人のよさを認め、自己肯定感を育て、豊かな人間関係を築くとともに思いやりのある心を育てる。
- ・偏見や差別、いじめを許さない人権感覚を培い、優しさと思いやりのある心を育てる。
- ・hyper-QUやふれあいアンケートを積極的に活用し、児童の実態把握に努める。
- ・「特別の教科 道徳」の時間の充実させ内面に根差した道徳性・道徳実践力の向上を図る。
- ・「五葛西ルール」の徹底を図り好ましい生活習慣を確立する。
- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを活用し、保護者との連携を強化した不登校対策の推進する。
- ・虐待やネグレクト等の早期発見、児童相談所、民生児童委員との連携で解決を図る。

2 確かな学力の定着

- ・基礎的・基本的な知識・理解の習得と課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力の育成を図る。
- ・児童が主体的に学習に取り組めるよう、一人一人の興味・関心を大切に体験活動や問題解決学習を充実させる。
- ・個別最適な学びを大切に、算数習熟度別少人数指導や個別指導、放課後補習教室を活用し、一人一人の課題解決を図る。
- ・一人一台のタブレット端末を活用した授業や協働的な学習を展開し、問題解決のための思考力・判断力・表現力を育む。
- ・高学年で一部教科担任制を行い、全学年で交換授業を実施する。
- ・外国語活動を低学年から実施し、互に関わり合い、英語に親しむ活動を多く取り入れる。
- ・公共図書館と連携し、読書力の充実を図る。
- ・体力の向上のために、パワフルチューズデー、縄跳び月間、持久走月間、長縄月間などに取り組む。

3 教師力の向上

- ・教職員の互いの専門性や持ち味を生かし合う学校にする。提案、交流、議論など教職員が相互に開き、学び合うことを重視する。
- ・教員相互の授業参観を行う。
- （授業観察時等で授業公開をする。若手教員の授業を積極的に参観し、指導・助言を行う。）
- ・校内研究で国語科の授業研究を中心に授業力の向上を図る。
- ・校務分掌の組織を生かし、分掌業務についてのOJTを実施し、効率的に仕事を進める。

4 保護者・地域と協働した学校づくり

- ・保護者や地域の声を真摯に受け止め、丁寧な対応を心掛ける。
- ・学校の情報を広く公開し、広報活動を工夫し、説明責任を果たす。
- ・全国、都の学力調査、学校関係者評価の結果、学校いじめ防止基本方針、緊急時対応マニュアルなどを公開する。
- ・学校公開、学校だより、学年だより、保健だより、給食だより等の各種文書の配布や教育活動のHP掲載により、学校の情報を保護者、地域と共有する。

その他推進を図る取組

○環境教育

○健康教育

○安全教育・防災教育

○キャリア教育

○特別支援教育

○食育

○教職員の働き方改革